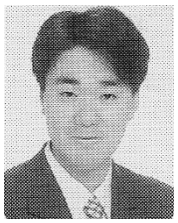


《メールアドレス》
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員　中野あきと事務所ニュース

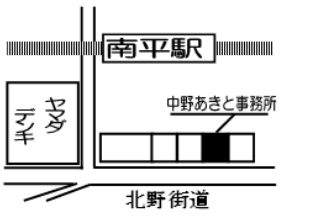
みどりと清流

2005年　7・8月合併号　　第４３号

日本共産党中野あきと事務所
日野市南平７−６−72　℡599−3350
〒191-0041　発行責任者　小山敏正

しんぶん赤旗
日刊紙１ヶ月　2900円
日曜版１ヶ月　800円
お申し込み・南多摩事務所
℡042-374-4384
又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



東京都議選　市民と日本共産党の共同の勝利

七月三日投開票で行なわれた東京都議選で、日本共産党の村松みえ子さんは、激戦に競り勝ち議席を取り戻しました。定数二の日野選挙区は、前回一三〇〇票差で惨敗した村松さんと、自民党、生活者ネットの現職との激しい選挙戦になりました。

民主党がネット候補を推薦し、公明党が自民候補を推薦するという、「オール与党」による共産党追い落としのシフトがひかれましたが、これを破っての勝利となりました。

「二議席を馬場市政与党に独占させるわけにはいかない」「村松勝利のために共産党が好きな人も、そうでない人も力を合わせよう」と、窪田之喜弁護士をはじめ、四月の市長選挙をたたかった党派をこえた市民の皆さんが「日野市民の代表を都政に送る会」を結成、運動をひろげました。

投票率が前回選挙より下がる中で得票数を前回より二八〇票伸ばし、昨年参院選比例選挙の得票（七七七二票）を二倍化することができたのも、このような幅広い市民の皆さんの応援があったからです。

中野あきと

都議選の結果を報告する村松美枝子都議（右）と中野昭人市議＝8日、日野市京王線南平駅前

	候補者	今回票数	前回票数
当選	村松みえ子（共産党）	15,282	15,002（次点）
当選	古賀　俊昭（自民党）	23,895	27,381（次点）
次点	執印まち子（ネット）	14,956	16,337（当選）

高幡不動駅の改築
今の改札口と地下通路を残し
混雑の緩和と安全対策を

京王線高幡不動駅の駅舎改築が進められています。駅舎が完成すると南北自由通路ができて、あらたに北口が開設され、エレベーターやエスカレーターも設置されることになります。

同時に、モノレール駅と自由通路で結ぶために三階の高さの橋上駅となり、ホームに出るためにはエスカレーター又はエレベーターで三階部分にある改札口まで上がり、再びエスカレーターやエレベーターで降りなければなりません。同駅は、不動尊参拝客など高齢者の利用が多い駅です。東京消防庁の平成十六年の調査によると、エスカレーターからの転倒・転落事故が約半年間で三七一件も起きていて、バリアフリー化や安全対策が新たな課題となっていました。

◆エレベーターは改善が実現◆

高幡駅の改善を求めて運動してきた「みんなにやさしい高幡不動駅をつくる会」は、計画されている十一人乗りのエレベーターの改善、ラッシュ時や年始などの混雑緩和と安全性の確保対策として、既存の改札口と地下通路を、臨時改札口・通路として残すことなどを繰り返し市や京王電鉄と交渉してきました。

また、中野あきと市議は、六月市議会の中で「五億もの市の税金を投入する改善事業であり、こうした提起を真剣に検討すべきだ」と指摘しました。

こうした経過の中でエレベーターについては十五人乗りに改善され、懸案だったエレベーター内での電動車椅子の方向転換も可能となりました。既存改札口の利用についても担当課長は「京王側にご指摘の点を改めた話をしてみたい」と答弁しました。

特養ホーム「あすなろ」問題

日野市と設立代表者の「協議記録」
市が「情報」を非公開に

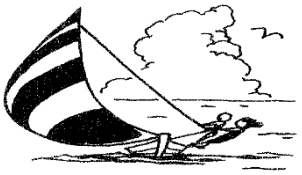
日本共産党日野市議団は、市内百草に建設予定の特養ホーム『あすなろ』の、開設経過に関する情報開示請求を日野市長に対して行なってきましたが、六月二十三日、市は、この問題の核心部分に関わる行政情報を「非開示」とすることを決定しました。

「非開示」とされたのは「二〇〇三年七月七日から八月二十六日の期間の日野市と社会福祉法人設立代表者との協議に関する記録一式」です。この特養ホームは、来年二月開設を予定されていますが、市は十億円の建設補助金を支出することになっています。

ところがこの計画では、認可条件からすれば、本来特養ホームを運営する社会福祉法人が所有すべき敷地を、不動産会社に高額の借地料を支払って確保することになっています。しかも、その不動産会社の代表者は、自民党市議の政治団体会計責任者がつとめています。

これまでの党市議団の質問で、敷地を借地で確保する方向については「非開示」とされた期間に、市と社会福祉法人設立代表者との間の協議で確認されたことが明らかになっています。

市はなぜこのような計画を容認したのか。「協議記録」を公開して市民に説明する責任があるのではないでしょうか。



東電変電所問題・住民の請願を不採択に
市の責任のがれを自民、公明、市民クが追認

東電高幡不動変電所の「建設に関する請願」は、東京電力が住民の同意を得ずに変電所建設を強行したことに抗議し、日野市の指導を要請したものです。市は当初、住民・地権者の負担と協力によって進めてきた区画整理事業施行者と言う立場から、東電への強力な指導を行い、その結果、工事は２年間も中断してきました。

ところが昨年１０月、東電が一方的に工事を再開すると姿勢を転換、工事の強行を容認。住民には「東電と話し合ってください」と繰り返すだけで、「仲介」「斡旋」の域を出ないものになってしまいました。

市も、与党議員も「工事がすすみ既成事実となれば…」とでも思っているのでしょうか。ここは区画整理地域でもあります。住民に良好な環境を約束して「減歩」などの負担をさせ、協力させてきた区画整理施行者としての市の責任は免れることはできません。

みえ子の飛びある記

あらためて実感した支持の広がり
都議会議員　村松みえ子

梅雨が明け暑い夏がやってきました。きびしいたたかいの後で、いま私は、さわやかな気持ちで活動しています。候補者の知らないところでの支持の広がりは、これまでの支持者の範囲をこえていたことが、選挙後の駅頭や街頭宣伝の中で実感してきました。

いつも挨拶してくれる方々に交じって、「おめでとう」と面識のない方からも、こんなに声を掛けていただいたことはありません。わたしは改めて今度の選挙での党や後援会の皆さんの奮闘と、「日野市民の代表を送る会」の方々が、エンジンを全開して取り組んでいただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

同時に「今の政治を変えたい」との願いがこもった勝利であると受け止めています。

若い方の不安定な雇用問題の解決で、展望の持てる社会を。石原都政の福祉切捨ては許さない。サラリーマン大増税や消費税増税、憲法改悪の動きへの怒りが、共産党の村松みえ子への支持につながったのではないでしょうか。このご期待にこたえて力いっぱいがんばります。

《８・９月の無料法律相談》

村松みえ子事務所　午後６時～８時
８月　４日（木）　９月　１日（木）

市役所６階・共産党控室　午後１時～３時
８月１１日（木）　９月　８日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

村松事務所　TEL582-0504
中野事務所　TEL599-3350

短信

市は特養ホーム「あすなろ」の開設をめぐる協議記録を「非開示」にしました。「窓口にて対応したために記録については存在しません」と言っています。敷地を借地で確保する計画については口頭でのやりとりであって、協議の記録は「一切存在しない」というのです。信じられない話です▼所得税各種控除の見直し、定率減税の廃止などの「サラリーマン大増税」。政府税調が発表したのは都議選告示直前の六月二一日でした。自公民はあわてて推進・旗振り役の態度を偽り「反対」のポーズ。早速反撃しましたが、改悪を重ねた選挙法による選挙期間はわずか十日間。歯ぎしりの思いでした。しかしたたかいはこれからです▼じりじりする思いで報道される開票結果を見ていましたが、しびれを切らして風呂に。部屋に戻ると留守電に「村松当選」の吉報が。票数が気になり事務所に電話。周囲の歓声で相手の声はほとんど聞き取れませんでした。定数二の日野市で市長選を共にたたかった市民の方々との共同の勝利。意義の大きさを改めてかみしめています。